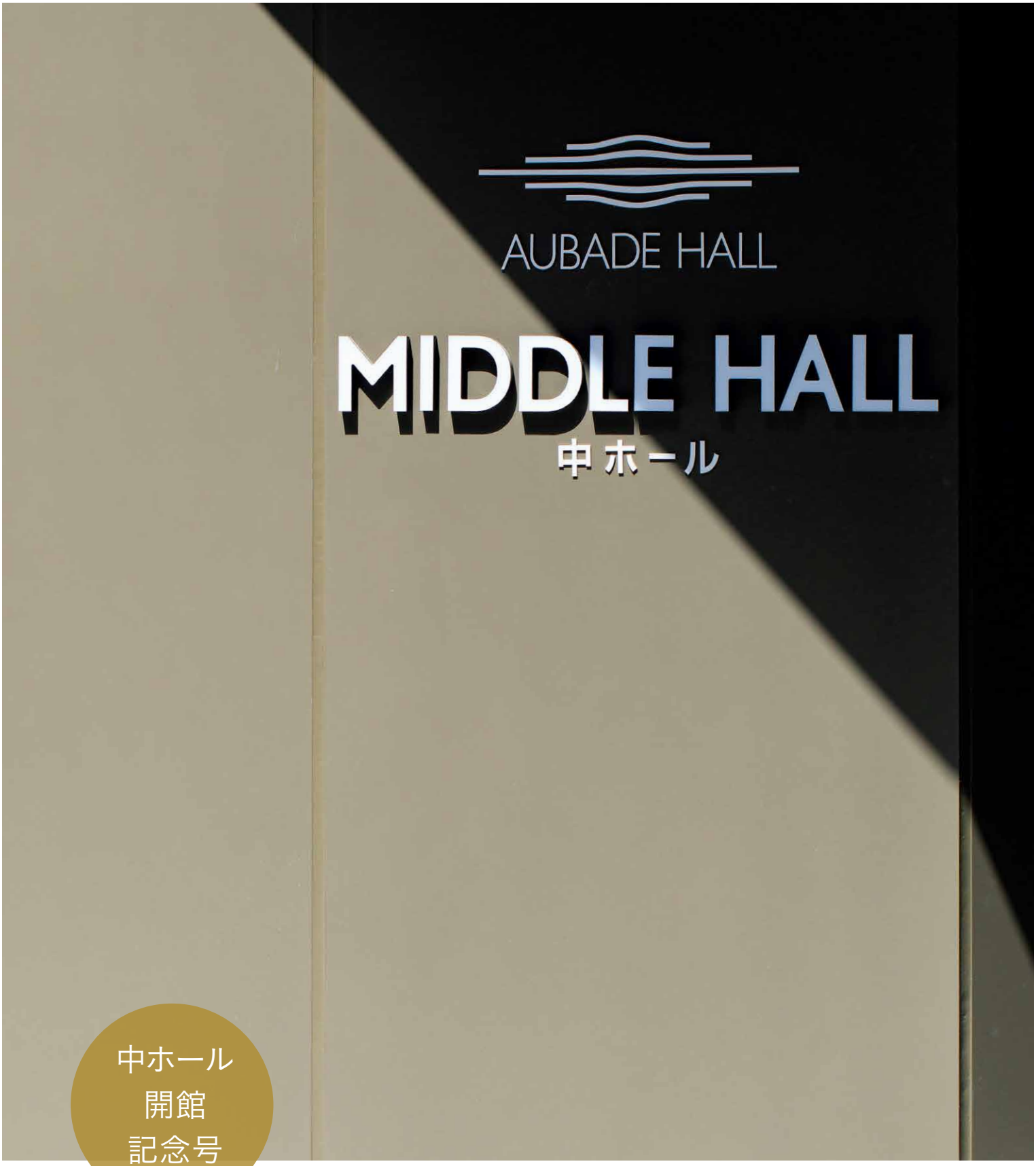
Mite Mite

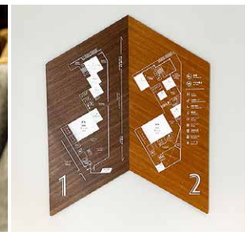
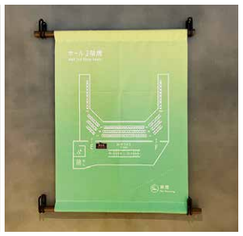
「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2023- summer
VOL. 76

AUBADE HALL



中ホール
開館
記念号

富山駅から徒歩3分。オーバード·ホール 大ホールの隣に、
いよいよ7月1日、「オーバード·ホール 中ホール」が開館します。
オープニング記念公演として柿落しを皮切りに17公演が開催される予定です。
可動式の客席により、音楽や演劇、ダンス、落語など、多様な芸術文化が楽しめる
完成したばかりの中ホールをご紹介します。

さまざまな出会いや交流が生まれるホールに！

設計担当
久米設計　建築設計室　兒玉 謙一郎さんにきいてみた！

建築コンセプトについて教えてください！

誰もが気軽に立ち寄りやすく、思い思いの活動が行えると共に、様々な出会いや交流が生まれるような、市民の皆様の新たな居場所となる施設をつくりたいと考えました。施設へは色々な方角から出入りができ、ロビーには多くのテーブルと椅子を置いて様々な特徴のある場所を用意しています。練習室はガラス張りになっていて、開放的に活動ができると共に、ロビーにいる人が文化活動を始めるきっかけをつくります。ホールについても市民の利用を重視して、コンパクトで様々な使い方に対応ができるようにしています。この施設を市民の皆様が生き生きと使って下さる事を楽しみにしています。

サインデザイン担当
hokkyok　藤井 北斗さんにきいてみた！

サインデザインについて教えてください！

サインデザインのコンセプトは「山が連なる景色」です。立山連峰や五箇山の合掌造りといった、富山を象徴する風景に着想を得ています。館内の随所に山型のサインが設置されているので、訪れた際には是非探しながら歩いてみてください。素材には木を使用することで、山における木々の賑わい・自然の温もりを表現しました。それと同時に、中ホールが市民の方々で賑わい活気あふれる場所になるように、という意味合いも込めています。

ライター上坂真紀の **祝！開館「中ホール見学」**

公演がない日でも、人が集える劇場。

舞台をダイレクトに体感。

メインロビーに入ると、まず複数の三角形を描く天井の木調パネルに目を奪われる。立山連峰をイメージしたデザインであり、壁面にあしらわれた天然杉とともに、空間に温もりと豊かな表情をもたらしている。黒い壁面に見える空調の吹出口さえも、インテリアのような趣だ。デザインパートナーは、富山市ガラス美術館がある「TOYAMAキラリ」を設計した建築家・隈研吾さんと聞くと、どことなく共通した印象をうける。

こうして館内を眺めながら、大きな吹き抜けの開放感とガラス窓から差し込む陽光に包まれるのも心地いい。続くホワイエとの間には仕切りがなく、床の素材を変えることで空間が分けられている。地域への思いを体現しているようなオープンな造りだ。

奥に進んで一番の目当てであるホール内へ。舞台から客席までの距離が近いように感じる。客席全体の傾斜や手すりの角度など視界にも配慮されていて、どの席からも舞台がよく見える。また、演者の肉声が4階席の奥までしっかり届くような音響設計がなされているという。実際に客席に座ってみると、足元にゆとりがあることに気づく。座席一つひとつの厚みを薄くすることで通路幅に余裕を生み出しているため、同じ列に他のお客さんが座っていても比較的移動しやすい。さりげない心配りの数々が、快適な空間を創り出している。

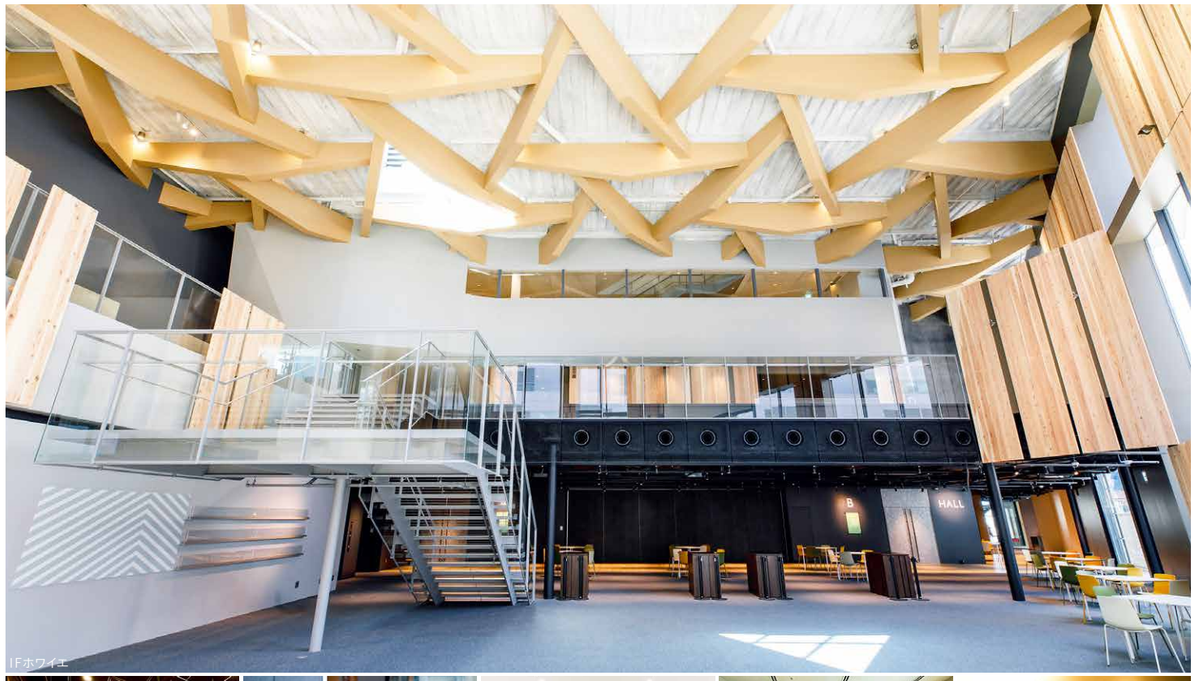
芸術文化が、もっと日常に。

中ホールには来館者用の入口が複数あり、外階段から自由に出入りできる屋外テラスもある。そのテラスは、ちょっとした公園のような空間だ。鏡に向かってダンスをしたり、その姿を眺めながら寛いだり、テーブルでおしゃべりを楽しんだりと、一人ひとりが思い思いに過ごせる。

館内も同様に、公演のない日でも多くの人が集える場所である。練習室でピアノを弾いたり、テラスやロビーで読書をしたりと、どこかで誰かが活動している姿を見られそうだ。ホールやホワイエ、ウォーミングアップ室などではイベントが開催されることもあるため、ふらりと立ち寄るだけでも思わぬ出会いや交流が生まれるかもしれない。おまけに、一般の方も普段は接点のない楽屋を借りることができ、会議などに利用できるというから驚きだ。憧れの演者が利用したかもしれないと想像するだけで、ひそかに胸が高鳴る。

高品質なオーディオ機器を備えた音楽鑑賞室も、使用申請をすれば誰でも利用可能だという。スワンチェアなどのお洒落な家具も配置されたその空間に、お気に入りのレコード盤を持ち込んで、目の前に演奏者がいるような臨場感を味わってみるのもいいだろう。

中ホールの誕生によって、非日常の空間がぐっと身近に、そして文化的な活動がもっと日常的なものになっていきそうだ。

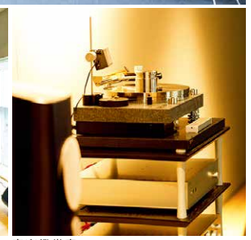

1Fホワイエ

ウォーミングアップ室

ロビー

楽屋［大］

練習室［3］


音楽鑑賞室

7月1日、いよいよ開館する中ホール。柿落しを華やかに飾るのは、人間国宝・坂東玉三郎と太鼓芸能集団 鼓童の共演による富山だけの特別ステージです。公演を前に富山の皆さんへのメッセージをいただきました。

中ホール開館記念［柿落し公演］
富山特別企画

坂東玉三郎×鼓童「アマテラス幻想」

坂東玉三郎さんメッセージ

現実を忘れ、いっときの夢の時間を

© Takashi Okamoto

この度はオーバード・ホール　中ホールの開館、誠におめでとうございます。この新しいホールの柿落し公演で「アマテラス幻想」を上演させていただきますこと、大変ありがたく思っております。鼓童の皆さんとは2000年に出逢い、共演や演出する機会を度々重ねて参りました。歌舞伎の世界しか知らない自分にとっては、佐渡で稽古を重ねて太鼓一筋に向かい合う若者達との出逢いは、大変意義のあることでした。17年間を共に稽古を重ねた日々を昨日のことのように思い返しております。「アマテラス」はそんな鼓童の皆さんと一緒に2006年に初演を迎えた作品です。古事記の神話を題材にした作品で、初めて鼓童の皆さんとご一緒する共演作でした。今回はオーバード・ホール　中ホールの開館を祝して、富山の皆さまのために特別な内容に仕立てて上演させていただきます。

実演による舞台芸術は、時を超えることは出来ません。この一期一会の機会で、ご見物の皆さまの心を楽しませ、いっときの夢の時間を過ごしていただけましたらこの上ない幸せでございます。7月に富山の皆さまとお目にかかれますことを楽しみにしております。

坂東玉三郎　Tamasaburo Bando

1957年12月東横ホール『寺子屋』の小太郎で坂東喜の字を名のり初舞台。1964年6月十四代目守田勘弥の養子となり、歌舞伎座『心中刃は氷の朔日』のおたまほかで五代目坂東玉三郎を襲名。泉鏡花の唯美的な世界の舞台化にも意欲的で、代表作の『天守物語』をはじめ数々の優れた舞台を創りあげてきた。また歌舞伎の枠を超えて、世界の芸術家まで大きな影響を与え、賞賛を得てきた。若くしてニューヨークのメトロポリタン歌劇場に招聘されて『鷺娘』を踊って絶賛されたのをはじめ、アンジェイ・ワイダやダニエル・シュミット、ヨーヨー・マなど世界の超一流の芸術家たちと多彩なコラボレーションを展開し、国際的に活躍。映画監督としても独自の映像美を創造。2012年9月に、歌舞伎女方として5人目となる重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定、また2013年にはフランス芸術文化章最高章「コマンドゥール」を受章した。2014年紫綬褒章、2016年日本芸術院賞・恩賜賞、2018年松尾芸能賞・大賞。2019年岩谷時子賞、2019年高松宮殿下記念世界文化賞、2019年文化功労者認定、2019年日本藝術院会員など。

鼓童・中込健太さんメッセージ

太鼓の音に、希望を託して

© Takashi Okamoto

アマテラスという公演は、私が鼓童に入った2006年に東京で初演を迎えました。当時新人だった私は、演奏者として舞台に立つことはまだできず、太鼓の台や大道具を作る仕事をしておりました。佐渡から東京に公演を見にいくことができ、その世界観に大変感動したことを今も鮮明に覚えております。その感動を今一度想いながら今回スサノオの役で舞台を精一杯務めてまいります。坂東玉三郎さんは鼓童の芸術監督として私が新人時代から長くご指導をいただいていた時期がありました。今回共演という形でまた再会できますことはとても嬉しい事でした。

富山県には、素晴らしい職人さんの作る仏具やおりんがあります。以前富山に訪れたとき、その音に触れる機会がありました。発せられた一音が減衰することなく永遠に響いていくような美しい音色でした。ひとびとの祈りや目に見えない神の世界に対するまっすぐな想いを音に託すということを改めて知った貴重な体験でした。富山という風土や歴史のなか生きてきた人々がそんな音を育んできたのだと思いました。そんな富山に暮らす皆様に、太鼓の音で元気や希望を感じていただけますよう、心を込めて演奏してまいります。

太鼓芸能集団 鼓童　Kodo

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来世界53の国と地域で7,000回を超える公演を行う。劇場公演の他、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」や、多様なジャンルのアーティストとの共演、国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加している。2012年から2016年まで歌舞伎俳優・坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。近年は石川さゆり、初音ミク、AI、MIYAVIらと共演。2019年は「ラグビーワールドカップ2019日本大会」開会式、国立競技場のオープニングイベントに出演。最近では、読売巨人軍とのコラボレーションやオンラインゲーム「原神」の音楽にも参加するなど更に活動の幅を広げている。2021年には創立40周年を迎えた。

公演情報

まもなく開催！

富山特別企画
坂東玉三郎×鼓童「アマテラス幻想」

◆日時：2023年7月1日（土）14:30開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール
演出：坂東玉三郎
出演：坂東玉三郎　川瀬露秋　久保浩助　林正典
皆川まゆむ　鼓童

※富山市民ご招待の募集およびパブリックビューイングチケットの申込受付は終了しております。多数のお申込みをありがとうございました。

中ホール開館記念［柿落し公演］

小曽根真 featuring No Name Horses
～AUBADE HALL ANNIVERSARY～

世界的ジャズピアニスト小曽根真が率いる、日本を代表するトップミュージシャンが集結したビッグバンド No Name Horses。2004年の結成からジャズ界のミュージックシーンをその名のとおりサラブレッドの如く疾走し続けています。柿落し公演では、「AUBADE HALL ANNIVERSARY」と銘打って中ホールの開館に相応しいビッグバンドジャズライブを開催！ 公演に先立ち、中ホールをご覧になった小曽根真さんからメッセージをいただきました。

小曽根真さんメッセージ

ここだけの、パワフルで美しい響きを

オーバード・ホール　中ホール、開館おめでとうございます。先日、富山に伺った際にまだオープン前の中ホールを見学させて頂きました。「多目的」という言葉の域をはるかに超えたこのスーパーホールは、あらゆるジャンルの舞台芸術はもちろん、この空間に足を踏み入れる全ての人に「その喜び」を伝えたいと願う多くの皆さんの思いが込められて創造されているのが実感として伝わってきました。文明が発展し続け、世の中がどんどん便利になるのと並行して人間の創造性は衰えていくのでは、と不安に思う事がしばしばあります。でも、ここ富山に新しく生まれる世界最高レベルの設備を持つこのホールは単純に「何でも出来る」という事ではなく、このホールを我々アーティスト達がどう使うかによって、この会場にお越しになる皆さんにどこまで感動して頂ける作品を創れるのかを試されるとてもチャレンジングなホールだと感じています。

そんな素晴らしいホールの柿落しのコンサート。15人編成のスーパービッグバンド No Name Horsesの音は、きっと世界の他のどこにもないこのオーバード・ホールならではのパワフルで美しい響きを会場にいる皆さんの心に届けてくれると信じています。

小曽根真 Makoto Ozone

1983年バークリー音楽大学を首席で卒業後、全世界デビュー。2003年にグラミー賞にノミネート。以来、ゲイリー・バートン、チック・コリアなど世界的なミュージシャンとジャズの最前線で活動するほか、日本及び欧米のオーケストラとも共演を重ねるなど、クラシックの檜舞台でも活躍している。2021年には還暦を迎え、全国47都道府県にて「OZONE60」プロジェクトを成功させた。平成30年紫綬褒章受章。

© Ryota Mori

小曽根真 featuring No Name Horses

小曽根真が率いる総勢15名のビッグバンド。メンバーはいずれも日本を代表するミュージシャン。これまで国内ツアーの他、アメリカ、フランス、スコットランド、ウィーン、シンガポール等各国の音楽祭に出演。2014年、結成10周年を記念し、アルバム『ROAD』をリリースし全国ツアーを催行、東京JAZZではクリスチャン・マックブライド・ビックバンドとの合同演奏など注目を集めた。2018年日仏の文化交流イベント「ジャポニスム2018」に招かれ、パリ公演を成功させた。2020年には15周年記念アルバム『Until We Vanish』をリリース、2022年には初のベスト版『THE BEST』とともに全国ツアーを行う。

小曽根さんが
中ホールに立ち寄られた際の
コメントはこちらから！

公演情報

まもなく開催！

小曽根真 featuring No Name Horses
～ AUBADE HALL ANNIVERSARY ～

◆日時：2023年7月2日（日）17:00開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール

◆チケット：［全席指定・税込］
一般：8,000円　ジュニア：1,000円　チケットは完売しました
※ジュニア：高校生以下対象。※未就学児入場不可。

◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP15「チケット購入方法」をご覧ください。

中ホール開館記念［柿落し公演］

志の輔らくご

立川志の輔 インタビュー

開館記念の柿落しに、
落語界を牽引する志の輔が故郷で魅せる特別公演。
その公演に先駆けて新しいホールに訪れた
志の輔さんにインタビュー。

立川志の輔 Shinosuke Tatekawa
1954（昭和29）年、富山県生まれ。明治大学在学中は、落語研究会に所属。1983年に立川談志に入門。1990（平成2）年、立川流真打昇進。文化庁芸術祭賞をはじめ、多数の賞を受賞。テレビ、ラジオのパーソナリティとしても活躍。

来た人のためだけに繰り広げられる一期一会の生の舞台

―― 中ホールを初めてご覧になっていかがですか？

ロビーに入ってきたときに、もう天然杉の香りがプンと漂ってきましてね。出来立てのホールはこんなにいい香りがするんだってびっくりしました。

―― 様々な使い方ができる舞台には、どんな可能性を感じますか？

本当に技術の粋を尽くして、空間が芸能や芸人に合わせてくれるわけですよね。ホールの真ん中でアコースティックギター１本で演奏したり、反対に客席をすり鉢状にして演者が一番下にいる舞台をつくったり、いろんな芸能が面白いことをできるんだと思います。劇場が箱だって言われる時代はもう終わったのかもしれませんね。劇場がものを生む時代が来たってことでしょう。

――志の輔さんは多くの劇場で柿落し公演をされてきました。柿落し公演に特別な思いはありますか？

最初にしゃべらせていただくことは、とてもうれしいことなんですけど、やっぱりスリリングなんですよ。柿落しからの１年間は、ホールもお客様を迎えるのに緊張してると思うんです。でも、お客さんも立派な空間に感心しながら、まだよそよそしく感じているかもしれない。ホールもお客さんも互いにドキドキワクワク、演者はハラハラすることになりますが、それを逆に楽しむんです。

――劇場にとって、柿落し公演はそれだけ特別なんですね。

１年後にどう変わっているかを見るのが、すごく楽しみです。これは出演者だけに感じられることですが、舞台に敷くヒノキの板が、演者の汗と涙でだんだん飴色なっていくんですよ。その頃にはきっと、ホールも落ち着いてお客さんを「ようこそ」って迎えてくれるようになってますよね。

――落語は江戸文化の一つですが、富山出身者が落語をすることの難しさはありましたか？

師匠の立川談志からは「お前のしゃべる後から江戸の風が吹いてこなきゃ駄目なんだ」と言われましたね。正直、師匠に面と向かっては言えませんでしたけど、僕には江戸の風は無理です（笑）。だから、江戸っ子のふりを一生懸命するんじゃなくて、落語は日本人の物語だと思って、日本人って面白いねという落語に変えてきたつもりなんです。富山では富山弁の落語もやって、「富山県民ちゃ、こんな感覚でしょ」っていうのを味わってもらいたいし、海外で落語をやるときは、日本を懐かしんで、日本語の素晴らしさを感じてもらいたい。そんなふうに、落語には日本の風が吹いていると思ってやってます。

――富山の人間にとっては、富山弁を聴くと落語が一気に身近に感じられます。長く富山で落語をやってこられて、お客さんの反応は変わってきましたか？

昔の富山県民は「あんまり人前で笑われんなま」という感覚があったと思うんですね。僕が40年前に落語家になったときは、こっちも落語が下手だし、お客さんも落語の聴き方が分からなかった。それが今は、全国で一番いい観客になってくれまして。お客さんも落語を敷居の高いものだと思わずに、リラックスして聴いていただいてるんだと思います。

――今やネットやDVDで気軽に落語を聴けるようになりました。そんな時代に、生で落語を聴く魅力は何でしょうか？

それはもう一期一会なんですね。落語でもクラシックでも何でもそうですが、そこに来た人のためだけに行われるわけですから。もちろん、スマホで見られる世界の映画も素晴らしいんだけど、あなたのうちの近くの会館やホールにもぜひ行ってみてくださいと言いたい。必ずしも面白いとは限らないし、もしかしたらつまらなくて怒りが湧くかもしれない。でも、その怒りも行ったからこそ味わえるもので、生涯そのことを忘れないと思うんですよ。ある意味で、それも大切な人生の宝物ですよね。

今はテレビがあってスマホがあってChatGPTまであって、何でもある。でも、舞台は何もないところから始まります。そこに来た人のためだけに繰り広げられる生の舞台。役者が台詞をトチるかもしれないし、落語家なんてしょっちゅう間違ってますが、それも含めて、ここにいる人しかその瞬間を見ることができない。劇場に来るというのは面倒くさいことかもしれないけど、面倒くさいことのなかには素晴らしいものが待っていると思います。

――たくさんの人が新しいホールでの「志の輔らくご」を楽しみにしています。ぜひ見どころを教えてください。

柿落し公演を少しでもおめでたいものにしたくて、オープニングに富山県で初めて披露するものを用意しています。うまくいくか分かりませんけど、それも当日来た人だけが分かることなので、よろしければぜひおいでください。

聞き手・文　笹山敬輔（演劇研究者）

「劇場がものを生む時代が来たってことでしょう」

公演情報

まもなく開催！

志の輔らくご

◆日時：2023年7月8日（土）15:00開演
7月9日（日）13:30開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール
◆チケット：［全席指定・税込］5,500円　チケットは完売しました
主催：北日本放送、（公財）富山市民文化事業団、富山市

中ホール開館記念［柿落し公演］

ローラン・プティ HOMAGE

INFINITY
PREMIUM
BALLET GALA

無限の可能性を包む舞踊表現のステージ

世界的振付家、ローラン・プティへのオマージュを込めた今回の舞台。プティ氏からの信頼を得て多くの作品を踊ってきた草刈民代のもと、世界トップバレエ団で活躍しているダンサーたちによる、古典から現代のバレエ変遷を物語る作品群。中ホール開館を記念しての本公演。富山の皆さんへ向けて、芸術監督・草刈民代さん、そして出演ダンサーの加治屋百合子さん、木本全優さん、江部直哉さんより特別メッセージをいただきました！

message

この度、オーバード・ホール　中ホールの柿落しの公演として、「INFINITY-PREMIUM BALLET GALA-」を上演させていただきますこと、大変嬉しく思っております。バレリーナ時代の私にとって非常に大きな存在であったローラン・プティ氏の作品を中心に、世界各国で目覚ましい活躍をしているダンサーたちが、古典、ネオクラシック、現代作品に至るまでの様々な時代の作品を披露していきます。プティ氏がご存命であれば今年99歳。日本のバレエの歴史にとっても重要な人物であったプティ氏に心を寄せ、彼に感謝を捧げる公演にしたいと思っています。出演者全員、今から富山で踊ることを楽しみにしています。皆様、ぜひ観にいらしてください！

芸術監督
草刈民代

©Satoshi Kuribayashi(aosora)

Tamiyo Kusakari

ヒューストン・バレエ　プリンシパル
加治屋百合子

Yuriko Kajiya

Dear 富山の皆さま、はじめまして、私はバレリーナの加治屋百合子です。アメリカ、ヒューストン・バレエ団に在籍しております。この度、オーバード・ホール　中ホール オープニング記念公演に参加させて頂くことになりました。雄大な自然に囲まれ、絶品グルメと温泉が楽しめる魅力あふれる富山！初めての富山に今から胸を躍らせております。オーバード・ホール　中ホールのコンセプトは「誰もがやりたいことを実現するホール」で、様々な使い道が出来、演者と観客、皆がホールに足を踏み入れた先に輝き歩んで行ける場所。素晴らしいですね！私は記念公演でネザーランド・ダンス・シアター（NDT）のトップダンサーとして活躍されていた中村恩恵さん振付の『エチュード』とバレエの巨匠、ジョージ・バランシン振付作品「ジュエルズ」より『ダイヤモンド』を踊ります。「オーバード・ホールが世界中に愛されるダイヤモンドのように輝き、未来に飛躍出来る場となりますように」と願いを込めて踊らせていただきます。未来に向けてますますのご発展をお祈りいたします。

こんにちは。富山での柿落し公演をとても光栄に思い、楽しみにしております。私自身富山での公演は初めてなので、この機会を通じて、富山の皆様にパフォーマンスをお届けできることをとても嬉しく思っています。皆様に楽しんでいただけるよう、最高のパフォーマンスをお届けするために全力を尽くします。富山には美しい自然や歴史的な建造物、そして素晴らしい食べ物がたくさんありますので、ダンサーの皆さんと一緒に富山の魅力を堪能し、思い出に残る時間を過ごせることを願っています。また、バレエを通じて皆様とのつながりを深め、音楽やパフォーマンスを通じて、皆様に元気や勇気を与えることができれば、私にとっても何よりも嬉しい事と思います。最後になりますが、私は富山の皆様との出会いをとても楽しみにしています。私たちの柿落し公演にぜひお越しください！富山の素晴らしい魅力と、私たちのパフォーマンスを一緒に楽しみましょう！

カナダナショナルバレエ　プリンシパル
江部直哉

Naoya Ebe

ウィーン国立バレエ団　プリンシパル
木本全優

©Wienerstaatsballett/Ashley Taylor

Masayu Kimoto

オーストリアのウィーン国立バレエ団で踊っている木本全優です。日本のお客様の前で踊るのはいつも特別な気持ちになるのですが、今回オーバード・ホール　中ホールのオープニング記念公演に参加できるという事でとても光栄に思っています。他のバレエ団で踊っている素晴らしいダンサーとの共演もいつも良い刺激になるので今から楽しみです！新しいホールで新しいパートナーと初めての作品にも挑戦するので富山の皆さんに客席から応援していただけると嬉しいです。

※やむを得ない事情で、出演者が変更となる場合がございます。予めご了承ください。

公演情報

ローラン・プティ HOMAGE
『INFINITY- PREMIUM BALLET GALA-』

◆日時：2023年7月29日（土）13：00開演／17：00開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール
◆芸術監督：草刈民代
◆出演：加治屋百合子（ヒューストン・バレエ）
石原古都（カナダナショナルバレエ）　佐々晴香（ノルウェー国立バレエ）
秋山瑛（東京バレエ団）　大谷遥陽（イングリッシュ・ナショナル・バレエ）
木本全優（ウィーン国立バレエ団）　江部直哉（カナダナショナルバレエ）
ハリソン・ジェイムス（カナダナショナルバレエ）　玉川貴博（元東京バレエ団）
三森健太朗（スウェーデン王立バレエ）　太田倫功（ボルドーオペラ座バレエ）
◆チケット：［全席指定・税込］
S席：8,000円、A席：5,000円、U-25：2,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。
◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP15「チケット購入方法」をご覧ください。

ジャズ、民謡、ダンス、ヴァイオリン、演劇、沈む客席

come come THEATER!
カムカムシアター

音楽とダンスでめぐるバックステージ

中ホール開館を記念して、
2部構成で開催するカムカムシアター。
思い出として記憶に残るツアーに！

参加者募集！

come come THEATER!
音楽とダンスでめぐるバックステージ

◆日時：（各回約90分）
7月15日（土）　①11:00開演　②15:00開演
7月16日（日）　①11:00開演　②15:00開演
7月17日（月・祝）　①11:00開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール
◆参加費：［税込］1,000円 ※未就学児入場不可
◆参加定員：各回60名
◆プレイガイド：アスネットカウンター
★チケットのお求めはP15「チケット購入方法」をご覧ください。

【総合演出・振付・舞踊指導】 田畑真希

劇場のあちこちでパフォーマンス

1部「回遊の宴」

奈落や天井など日頃は行くことができないバックヤードにご案内します。ナビゲーターは富山在住の役者たち。施設の説明だけでなく、行く先々では様々なパフォーマーが登場し、ダンスや音楽、インスタレーションでお出迎えします。

【音楽監修・出演】 ヤマダベン

ステージでHAPPYなパフォーマンスを体感

2部「歓喜の宴」

総勢70名の出演者が踊って演奏するパフォーマンスを、ホールで体感していただけます。クライマックスとなる「第九音頭」では、観客の皆さんもご一緒に！「みんなが集える新しい広場」の誕生を一緒に祝いましょう。

【音楽監修・演奏指導・出演】 YASSY
（BLACK BOTTOM BRASS BANDリーダー）

出演パフォーマー

BLACK BOTTOM BRASS BAND（ニューオリンズブラス）

寺崎美幸（民謡）

小泉こうのすけ（ギター）

大久保貴寛（ヴァイオリン）

カスヤマリコ（ダンス）

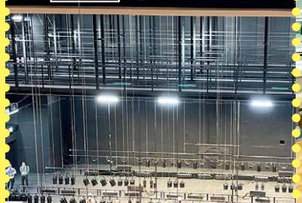
©田中洋二
中村理（ダンス）

黒田杏菜（ダンス）

開運舞踊団・開運音楽団（ダンス・器楽演奏）

ステージの上だけが、劇場なわけじゃない！
バックヤードで出会うパフォーマーが、劇場の風景を変えてくれる。
中ホールのバックステージツアーで、新しい体験を！

こんなところも見学できる?! こんなところでもパフォーマンス?!



小泉今日子、念願の小説『ピエタ』舞台化。

ピエタ

asatte produce

少女だったことがある、全ての女性に捧ぐ――

小泉今日子
Kyoko Koizumi
1966年、神奈川県生まれ。1982年、歌手デビュー。「木枯しに抱かれて」「あなたに会えてよかった」「優しい雨」等の楽曲を発表。女優として映画や舞台に多数出演し、執筆家としても活躍。2015年より株式会社明後日を立ち上げ、舞台・映像・音楽・出版など、ジャンルを問わず様々なエンターテイメント作品をプロデュース。

峯村リエ
Rie Minemura
1964年、東京都生まれ。劇団・ナイロン100℃に所属し数々の舞台・ドラマ・映画に出演を続ける。'16年以降の出演作に、映画「あなたの番です 劇場版」「犬も食わねどチャーリーは笑う」、「ロストケア」、大河ドラマ「真田丸」「青天を衝け」、テレビドラマ「あなたの番です」、「最愛」、「漂着者」、「ケイジとケンジ、時々ハンジ。」、舞台「ザ・ウェルキン」、「帰ってきたマイ・ブラザー」に出演。

『ピエタ』
2019年直木賞を受賞した大島真寿美が史実を基に描いた作品。18世紀のヴェネツィアを舞台に作曲家ヴィヴァルディを取り巻く女性達の姿を描き、2012年本屋大賞第3位に選ばれた。美しい音楽が流れるヴェネツィアで力強く運命と向き合った女たちの儚くて切ない人間賛歌。

STORY
18世紀、爛熟の時を迎えた水の都ヴェネツィア。『四季』の作曲家ヴィヴァルディは、孤児を養育するピエタ慈善院で〈合奏・合唱の娘たち〉を指導していた。時が経ったある日、かつての教え子エミーリアのもとに、恩師の訃報が届く。一枚の楽譜の謎に導かれ、物語の扉が開かれる――。

書籍『ピエタ』
著：大島真寿美
ポプラ文庫
定価：680円（税別）

大島真寿美の小説を原作とした舞台「ピエタ」は、演劇や映画のプロデュースも手がける小泉今日子が企画した作品。2020年に上演予定だったもののコロナ禍で中止となり、リーディング公演のみを開催。それから3年を経て、ようやく念願の舞台化が実現する。自身が惚れ込んだ作品をどう舞台に立ち上げるのか。同じく小泉が惚れ込むキャストのひとり峯村リエとともに、18世紀のヴェネツィアを舞台に描かれる女性たちの物語の魅力を語った。

――ようやく上演されます。今のお気持ちから聞かせてください。

小泉　この舞台の原作である大島真寿美さんの小説を2011年に読んで、舞台化したいと思って以来、「ピエタ」のことはずっと頭の中にありました。2015年に株式会社明後日を設立してから、何度かチャレンジしては上手くいかず、2020年に満を持してと思っていたらコロナ禍になってしまって。でも、ネガティブな気持ちにはならなかったです。今回、やっと上演できることになり、むしろ、「ピエタ」という作品のほうがちゃんと時期を選んだのではないかと思うくらい、今がベストタイミングなんだろうなと思って準備しています。

峯村　私も、ネガティブな気持ちにはならずに、いつか絶対できると思っていました。リーディングだけでは終わらせないぞと。ただ、いざ本当にやるんだと思うと、この作品に対する小泉さんの強い思いをずっと受け止めてきただけに、それをちゃんと昇華しないといけないというプレッシャーもあって。身震いする思いです。

――小説のどこに魅力を感じられましたか。

小泉　この物語の主人公のエミーリアは孤児でピエタ慈善院で育っていて、ある楽譜探しに動き出したことをきっかけに、自分の中に閉じ込めていたものと対面しなければいけない状況になるんです。でも、みんなどこか誇り高い女性たちと出会って救われていく。それを読んだときに私自身も救われたんです。当時は40代でしたが、仕事をしながらがむしゃらにここまで生きてきて、過去の自分が今の自分をちゃんと支えてくれているんだなとわかったというか。10代で頑張っていた自分、もっと幼い頃に見ていたきれいな空や花、そういう記憶がたくさんあって私という人間はいるんだなと。ということは、私以外にもそんなふうに感じる人がいるのではないかと。読書が苦手な人にもこの物語を伝えることができればいいなと思ったんです。

峯村　すごく面白かったです。外国が舞台のお話は登場人物の名前を覚えるのが苦手なんですけど（笑）、「これは誰だっけ？」とページを遡ることを2回ほどやったあとは、もう、スーッとこの世界に連れて行ってもらって。ヴェネツィアの空気や風、洋服の衣擦れの音や部屋の温度や匂いまで、自分の中に湧き上がってきて、読み終わりたくない、この世界から帰りたくない、という気持ちになりました。だから、そんな世界に自分が登場人物としていられると思うとすごく嬉しくて。最初、クラウディアという役はとても素敵な大人の女性なので、私に務まるのかしらと思いましたが。もう一度読み進めると、やんちゃなところもけっこうあって、そこにまた惹かれたので、そこを手がかりにすればできるかなと思っています。

――舞台に立ち上げるにあたっては、どんな工夫をされていますか。

小泉　リーディング公演で手応えを感じたので、その骨組みに何を加えて何を落としてドラマとして作っていけばいいかを、脚本・演出のペヤンヌマキさんと話してきました。例えば、クラウディアが語るヴェネツィアの貴族と政治についての嘆きなんて、コロナ禍以降いろいろな社会のひずみが露呈してきた今の時代も同じだなと思えたり。そんな話を二人でしながら、さらに脚本を練っています。

舞台美術や衣裳は抽象的にするつもりです。その中でヴェネツィアを想像させるには、水の音や鳥の鳴き声で水路が見えてくるとか、音が重要になると思っているんです。音楽監督の向島ゆり子さんも、そういったSE（効果音）を自分で作ってみたいと。ヴァイオリンとチェンバロの生演奏とともに、音も楽しみにしていただけたらと思いますね。

峯村　リーディングのときも、向島さんのヴァイオリンが入るところが掛け合いみたいに感じられてすごく楽しかったですね。語っている自分もヴァイオリンによって世界が見えてきて、その私のセリフに向島さんが音楽で返してくれて。また、小泉さんが、私たち役者の声が音になっていてすごくいいと言ってくださっているので。音楽、役者の声、SEの音と、今回のキーは音なんだなと思っています。オペラ歌手の方もいらっしゃいますし。

小泉　実在したオペラ歌手をモデルにしたジロー嬢という役で、橋本朗子さんに出演していただき、歌ってもらうことになると思います。

――今回は、オーバード・ホールに新しくできる中ホールの開館記念公演として来ていただきます。

小泉　新しいピカピカのホールでやらせていただけるのは光栄で、うれしいです。もしかしたら「ピエタ」は、そのピカピカのところにぴったりの演目かもしれないですね。本当に美しくて心温まるお話です。

あの「四季」の作曲家のヴィヴァルディも登場し、豊かな音楽もあります。音楽は本当に楽しみにしていただきたいです。

峯村　私は開館記念公演って初めて経験するんです。富山に行くのも初めてなので、初めてづくし。楽しみです！

小泉　私は何度か舞台公演で行かせてもらっていますけど、ご飯がおいしいですよ。シロエビとか、ます寿しとか。

峯村　うれしい！ 東京にいる友だちも富山公演を観に行きたいと言っています。

小泉　旅行がてらにいいですよね。私も、地方公演は家から離れるのでやっぱりウキウキするんです。今回もウキウキ気分で、富山に伺いたいと思います。

聞き手・文　大内弓子（ライター）

インタビューの
フルバージョンはこちら

公演情報

asatte produce『ピエタ』

◆日時：2023年8月19日（土）17:00開演
20日（日）13:00開演

◆会場：オーバード・ホール　中ホール

原作：大島真寿美『ピエタ』（ポプラ社）
脚本・演出：ペヤンヌマキ　プロデューサー：小泉今日子
出演：小泉今日子　石田ひかり　峯村リエ
広岡由里子　伊勢志摩　橋本朗子　高野ゆらこ
演奏：向島ゆり子　会田桃子　江藤直子

◆チケット：［全席指定・税込］ チケットは完売しました
S席：6,800円　A席：5,800円　U-25：3,500円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。

◆プレイガイド：アスネットカウンター ほか
★チケットのお求めはP15「チケット購入方法」をご覧ください。

撮影：片山貴博　ヘアメイク：石田あゆみ（小泉今日子）、笹浦洋子（峯村リエ）
スタイリスト：宇都宮いく子（メイドレーンレビュー）

終わった人

リーディングドラマ

面白過ぎる、小説が、面白過ぎる舞台に……

内館牧子原作のベストセラー小説『終わった人』を、9月、朗読劇としてオーバード・ホール　中ホールで上演します。仕事一筋だったが定年を迎えて“終わった人”になった主人公・田代壮介を中井貴一が、その妻・千草をはじめ、娘やガールフレンドなど、壮介を引き回す女性たちをキムラ緑子が一手に演じます。先日都内で、出演の二人と原作の内館牧子の３名による取材会が開かれました。その会見の一部をお伝えします。

――まず『終わった人』がどんなお話か教えていただけますか？

内館　勤めている人なら誰もが経験すると思いますが、定年というものがあります。それまで華々しく最前線にいても、「もう終わりですよ、辞めていただきますよ、次の人に譲ってください」と、口には出されないけれども、辞めざるを得ない。「本当はもっと仕事がしたかった、俺はまだできる、まだ若い」と思っているのに、世の中的には終わった人になってしまう。そんな人たちの悲哀を書きました。

主人公は、東大法学部を出た超エリート。これも理由があって、超エリートであろうがそうでなかろうが、定年後に行き着くところはみんな大差ないんだっていうところも書きたくて。もうひとつ、妻は、夫がずっと家にいるようになっても、きちんと自分の将来を見越して生きているところがあります。夫はショボショボとして妻はハツラツとしてくる、そんな様子も書いています。

――中井さんとキムラさん、最初にこの本を読んでいかがでしたか？

中井　とっても面白く読ませていただきました。僕とキムラさんは同じ歳で、ちょうど定年を迎えた同級生たちが「終わった人」の門口に立っている時期なんです。時々友人から電話がかかってくると「あと2年で俺も終わりだよ」とか、「終わり」という言葉を使うような年齢になったんだなあと思い知らされます。僕たちは終わりがない商売なので、その友人たちに向けてのエールや、この年代の悲哀を、朗読劇でできたら面白いんじゃないかと。

キムラ　すごく心に沁みるお話で、何度もいろんなところで涙を流してしまいました。父親のことに思いを巡らせたり、自分はこれから先どうやって生きていくんだろう、どこで終わるんだろうってことを、いろいろ考えさせられました。こういった場に来られる機会があると「あ、私まだ終わっていないんだ」と思ったりしています。

――朗読劇の難しさや面白さについてどのようにお考えですか？

中井　朗読劇は、肉体を使って具体的に表現するのではなく、いかにお客様の想像力・妄想力をかき立てるような読み方ができるか、ということが大切だと思います。基本的に大変なのは何人もの人物を演じ分けるキムラさんだと思いますが（笑）。

キムラ　もう、どうしようかと思っています（笑）。舞台だとその役になる稽古をしますが、言葉だけでその世界に入り込んでいただくのは、なかなか難しいこと。自分の姿のまま奥さんや若い女性や友達になりますが、それぞれの役で中井さん演じる主人公としっかり関係を結ぶことを、これから稽古でつかんでいきたいです。

――キムラ緑子さんを是非に、とラブコールを送られたのが中井さんだと伺いました。どういう経緯だったのですか？

中井　ドラマでも奥さん役はどなたがいいですか、という質問をされることが多々あって、その時は必ずキムラさんって言うんですよ。癖になっていると言っていい程（笑）。今回の場合は、先に本を読ませていただいて、これができるのはキムラさんしかいないと本当に思ったんです。

キムラさんは、マインドを七変化できる人なんです。芝居で一番大切なことは、見た目は一緒でもマインドが変わることなんですよね。キムラさんはちょっとおかしいくらいマインドの変え方が絶妙なんですよ。

キムラ　もう、やめてください（笑）、本当にありがとうございます。内館さんの原作に「日本にも世界にも大勢のいろんな人がいる。出会った人、すれ違った人でも縁があるんだ、その縁を断ち切らないこと」という部分があったことを今、思い出しました。そこでも泣いちゃったんですけど。貴一さんは縁を断ち切らずに、私と一緒にやった時のことを覚えていてくださって、それを繋いでいこうとしているんだなと思って、また今泣きそうになりました。

――今回の舞台をどんな方に観ていただきたいですか？

内館　自分が「終わった」と思っている人、まだ終わっていないつもりなのに定年で機械的に終わらされた人、そういった方たちにまず観ていただきたいですね。できればご夫婦で来てほしいです。そしてこの小説では故郷の存在が非常に大きいんですね。故郷を考えるという意味でも、今落ち込んでいる年代の人たちにまず観てほしいです。

主人公夫婦の娘は、お母さんのお父さんに対する態度に非常に疑問を持っている。「お母さんちょっと冷たいんじゃない。これまで一緒にやってきて、お母さんだっていいと思ったからこのエリートと結婚したんでしょ。それなのに何なのその態度は」ってわーっと言うんですよ。これは今の若い女性たちが両親をクールに見ているところを書いています。だから若い年代にもぜひ観てほしいですね。

中井　このタイトルを見て観に来た20代がいたら褒めてあげたいですね（会場：笑）。文明はどんどん進化していきますが、手で洗濯をしていた時代から全自動洗濯機になった、僕はこのくらいがちょうどいい進化だと思っていて。僕たちがガキの頃にテレビが白黒からカラーになった。このくらいの文明の変化を共に過ごした人に観に来てほしいですね。

キムラ　私はすべての方に観てもらいたいと思うばかりです。登場人物みんな年齢も性別も違いますが、それぞれにドラマがあるんです。20代の方なら主人公の娘とか、みんなどこかに焦点を当てて観ることができる作品だと思います。皆さんに、どこを拾って何を感じたか聞いてみたいくらいです。

中井貴一
Kiichi Nakai
1961年、東京都生まれ。映画「連合艦隊」（'81）で俳優デビューし、日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。TBS系ドラマ「ふぞろいの林檎たち」（'83）で一世を風靡し、NHK大河ドラマ『武田信玄』（'88）では主役を演じる。「記憶にございません！」（'19）では、第43回日本アカデミー賞優秀主演男優賞・第62回ブルーリボン賞主演男優賞を受賞。

キムラ緑子
Midoriko Kimura
1961年、兵庫県淡路島生まれ。劇団M.O.P.を経て、舞台、映像と多くの作品に出演。2013年NHK連続テレビ小説「ごちそうさん」でヒロインをいじめる小姑役で人気を博した。近作は、ドラマ「あなたのブツが、ここに」（NHK）、映画「波紋」「大名倒産」（6月23日公開）など。近年は、「グレーテルのかまど」、「大改造！！劇的ビフォーアフター」など、ナレーションも多く務める。

内館牧子
Makiko Uchidate
1948年秋田市生まれ。OL生活を経て1988年脚本家としてデビュー。テレビドラマの脚本に「ひらり」「毛利元就」（1997年NHK大河ドラマ）など多数。映画化もされた『終わった人』に始まる「高齢者小説」シリーズは『すぐ死ぬんだから』『今度生まれたら』『老害の人』と続いており、累計部数は110万部を超えている。

内館牧子の筆が冴えわたる原作を観劇のお供に。

大手銀行の出世コースから子会社に出向、転籍させられそのまま定年を迎えた田代壮介。仕事一筋だった彼は途方に暮れた。生き甲斐を求め、居場所を探して、惑い、あがき続ける男に再生の時は訪れるのか？
シニア世代の今日的問題であり、現役世代にとっても将来避けられない普遍的テーマを描いた、大反響ベストセラー「定年」小説。

書籍
『終わった人』
著：内館牧子
講談社文庫
定価：940円（税別）

公演情報

チケット発売間近！

リーディングドラマ『終わった人』

◆日時：2023年9月5日（火）19:00開演
◆会場：オーバード・ホール　中ホール
原作：内館牧子『終わった人』（講談社文庫）　台本・演出：笹部博司
出演：中井貴一　キムラ緑子

◆チケット：［全席指定・税込］一般：6,000円　U-25：3,000円
※U-25：鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。
◆チケット発売：アスネット会員先行 6月24日（土）のみ
一般発売 7月2日（日）～
◆プレイガイド：アスネットカウンター ほか
★チケットのお求めはP15「チケット購入方法」をご覧ください。

主催公演情報

6/22 Thu　8/3 Thu　市民のためのランチタイム ジョイフル コンサート

富山で活躍する音楽家たちによるコンサート。Vol.90は新たに開館する中ホールで開催！

Vol.89 6/22（木）11：50〜12：50
◆ 出演＝櫻井涼子、椎名慧（ヴァイオリン）、館野真梨子（チェロ）、中川歩美（ピアノ）
◆ 会場＝富山市民プラザ　アトリウム

Vol.90（キッズコンサート） 8/3（木）11：50〜12：50
◆ 出演＝庄司慧士（テノール）、渡邊万貴（ソプラノ）、渋谷優花（ヴァイオリン）、内田陽子、清水香里（ピアノ）
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール

入場無料

6/24・25 Sat Sun　ミュージカル「ファインディング・ネバーランド」

『ピーターパン』誕生に秘められた真実とは── 愛にあふれた感動の実話。

◆ 出演＝山崎育三郎、濱田めぐみ、武田真治、夢咲ねね、杜けあき ほか
◆ 開演＝6/24（土）12：30 ／ 17：30
6/25（日）12：30
◆ 会場＝オーバード・ホール　大ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
S席 14,000円　A席 9,000円
B席 7,000円　U-25 5,000円

残りわずか

7/9 Sun　めざましクラシックス in とやま

初心者からクラシック通まで楽しめる選曲と演奏、高嶋ちさ子&軽部アナによる軽妙なトークをお楽しみに。

◆ 出演＝高嶋ちさ子（ヴァイオリニスト）、軽部真一（フジテレビアナウンサー）ほか
スペシャルゲスト：藤井フミヤ
◆ 開演＝15：30
◆ 会場＝オーバード・ホール　大ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］6,500円

お問合せください

7/23 Sun　クリストファー・クロス

グラミー賞5部門を制覇した世界のレジェンドによる富山スペシャル・ライブ。

◆ 出演＝クリストファー・クロス ほか
◆ 開演＝17：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
一般 8,000円　U-25 2,000円

完売しました

9/2 Sat　AUBADE ACOUSTIC WAVE

一流シンガー達による、歌と生音にこだわったアコースティックライブ。

◆ 出演＝タケカワユキヒデ、ASKA、尾崎裕哉 ほか
◆ 開演＝17：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
一般 8,000円　U-25 2,000円

会員先行発売日：7月8日（土）のみ
一般発売日：7月16日（日）〜

9/8〜10 Fri Sun　「エブリ・ブリリアント・シング ～ありとあらゆるステキなこと～」

ちょっと切ないけれど、明日を生きる勇気を与えてくれる、世界で話題の観客参加型一人芝居。

◆ 出演＝佐藤隆太
◆ 開演＝9/8（金）19：00　9/9（土）14：00
9/10（日）14：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 料金＝［全席自由・整理番号付き・税込］
一般 4,000円　U-25 2,500円

好評発売中

9/16 Sat　11/19 Sun　桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会

特別演奏会 9/16（土）14：00
◆ 指揮＝デリック・イノウエ
◆ 独奏＝長谷川潤（トランペット）

特別演奏会 11/19（日）14：00
〜バイエルン放送響のメンバーを迎えて〜
◆ 指揮＝ジョシュア・タン

◆ 会場＝オーバード・ホール　大ホール
◆ 料金＝［全席自由・税込］各3,000円（友の会会員・学生 無料）

一般発売日：7月1日（土）〜

9/23 Sat　山中千尋ニューヨーク・トリオ・ツアー 2023・オータム　富山公演

世界を駆け巡るジャズ・ピアニスト山中千尋。ジャズの本場ニューヨークからのレギュラー・メンバーとの富山公演は5年ぶり。

◆ 出演＝山中千尋（ピアノ、キーボード）、Yoshi Waki（ベース）、John Davis（ドラムス）
◆ 開演＝18：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］S席 6,600円
A席 5,500円　U-25 3,300円

好評発売中

10/9 Mon　人形浄瑠璃 文楽

太夫、三味線、人形の三位一体が織りなす、日本が世界に誇る伝統芸能。（解説・字幕付き）

◆ 出演＝人形浄瑠璃文楽座技芸員
◆ 演目＝【昼の部】『義経千本桜』椎の木の段、すしやの段
【夜の部】『桂川連理柵』六角堂の段、帯屋の段、道行朧の桂川
◆ 開演＝昼の部 13：30 ／夜の部 18：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 料金＝［全席指定・税込］
S席
一般 4,000円　ジュニア 2,000円
A席（3階）
一般 2,000円　ジュニア 1,000円

© 青木信二

会員先行発売日：8月5日（土）のみ
一般発売日：8月11日（金・祝）〜

※情報は2023年6月6日現在のものです。変更となる場合があります。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いします。

U-25：鑑賞時25歳以下対象の指定席引換券。座席はお選びいただけません。公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換えください。
U-25：鑑賞時25歳以下対象の入場券。公演当日、入場の際に身分証の提示が必要です。
ジュニア：高校生以下対象の入場券。

主催イベント　参加者募集：要事前申込

8/8〜13 Tue Sun　AUBADE HALL Presents「WE♡MUSICAL」2023

第一線で活躍する講師によるミュージカル・ワークショップです。

〈シーンスタディ〉　各クラス20名程度
3日間でミュージカル「キャッツ」のワンシーンを創り上げよう！
Aクラス 8/8（火）・9（水）・10（木）14：00 〜 17：00
Bクラス 8/8（火）・9（水）・10（木）18：00 〜 21：00
Cクラス 8/11（金・祝）・12（土）14：30 〜 17：30　13（日）13：00 〜 16：00
※各クラスの内容は同じです。
◆ 講師＝本間憲一、松本和宜、王子菜摘子、庄野早冴子、中川佳美（ピアノ）
◆ 参加料＝9,000円（3日間）

〈オープンクラス〉　各クラス30名程度
初心者大歓迎！！ミュージカルの要素を体験しよう！
フロアバレエ 8/11（金・祝）・12（土）・13（日）10：00 〜 10：30
◆ 講師＝庄野早冴子　◆ 参加料＝500円（1回）
ヴォーカル 8/11（金・祝）10：45 〜 12：15
◆ 講師＝王子菜摘子　◆ 参加料＝1,500円
テーマパークダンス 8/11（金・祝）12：30 〜 14：00
◆ 講師＝松本和宜　◆ 参加料＝1,500円
シアターダンス 8/12（土）10：45 〜 12：15
◆ 講師＝松本和宜　◆ 参加料＝1,500円
はじめてキッズダンス 8/12（土）12：30 〜 14：00
◆ 講師＝庄野早冴子　◆ 参加料＝1,500円
ノンバーバル・パフォーマンス 8/13（日）10：45 〜 12：15
◆ 講師＝王子菜摘子　◆ 参加料＝1,500円

〈ホームルーム〉「シアターキャンプ」　各クラス30名程度
シーンスタディ・オープンクラスの参加者限定。劇場でキャンプ!?みんなで楽しもう！
8/11（金・祝）・12（土） 18：00 〜 19：30
◆ 講師＝本間憲一、松本和宜、王子菜摘子、庄野早冴子、中川佳美（ピアノ）
◆ 参加料＝1,000円（1回）

◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 申込期間＝6/22（木）〜 7/9（日）
※申込多数の場合は各クラス抽選

申込方法・詳細はオーバード・ホール公式HP内特集ページをご覧ください。☞

8〜9月　AUBADE HALL Presents コミュニティ・アーツ・ワークショップ 2023

ふりつけもルールもないダンス。楽器や歌ごえの生演奏！
「その3」では、中ホールのステージの上でも！！
こころが、からだが感じるままにおどりましょう。

講師：なかむらくるみ

Photo カト トモコ

◆ 講師＝なかむらくるみ（ダンスアーティスト）
◆ 演奏＝ヤマダベン（パーカッション）、カワダユカリ（声）、石川征樹（ギター）
◆ アシスタント＝松田百世、ダンスカンパニー「あら・おるズ」
※演奏・アシスタントの組み合わせは、日程ごとに変わります。
◆ 定員＝各回15 〜 20名程度 ※申込多数の場合は各回抽選
◆ 参加料＝500円 ※障がいのある方の付き添い1名は参加無料

その1「みんなでおどろう！〈こども部〉」
◆ 日時＝8/26（土）11：00　8/27（日）11：00
◆ 会場＝富山市民芸術創造センター 舞台稽古場
◆ 対象＝5歳以上で、何らかの障がいのある児童・生徒、そのご家族・ご友人
◆ 申込期間＝7/18（火）〜 7/31（月）

その2「みんなでおどろう！〈おとな部〉」
◆ 日時＝9/16（土）11：00
◆ 会場＝富山市民芸術創造センター 舞台稽古場
◆ 対象＝18歳以上で、何らかの障がいのある方、そのご家族・ご友人、このワークショップに興味のある方
◆ 申込期間＝7/18（火）〜 8/14（月）

その3「みんなでおどろう！ ～ステージのうえでスペシャル～」
◆ 日時＝9/18（月・祝）11：00 ／ 14：00
◆ 会場＝オーバード・ホール　中ホール
◆ 対象＝5歳以上の方ならどなたでも！
◆ 申込期間＝7/18（火）〜 8/14（月）

申込方法・詳細はオーバード・ホール公式HP内特集ページをご覧ください。☞

チケット購入方法

インターネット	電話予約	窓口販売
アスネットオンラインチケット **www.aubade.or.jp** **24時間予約可能** ※ご利用の際には会員登録が必要です。	アスネットカウンター（オーバード・ホール 大ホール1F） **TEL. 076-445-5511** **10：00 〜 18：00** 定休日：月曜（月曜が祝日の場合、翌平日休み）	

新規会員募集中！

オーバード・ホール会員システム「アスネット」
お得に楽しくシアターライフを満喫するためのオーバード・ホール会員システム。ご登録いただくと、インターネットで24時間チケットのご予約が可能です。「アスネット」には、「アスネット会員」「メール会員」2種類の会員システムがあります。

入会方法
インターネットからお申込（オーバード・ホール HPより）
アスネットカウンター窓口でのお申込（オーバード・ホール 大ホール1F）

アスネット会員（年会費：1,800円）
特典　公演チケットの先行販売
公演チケットの割引販売 **10%OFF**
Mite Miteや公演情報の送付
＼開館記念！／ お得なパッケージチケット購入権

メール会員（年会費：無料）
特典　公演情報のメルマガ配信

※特典については1公演につき通常4枚まで。対象外の公演もございます。

AUBADE HALL calendar | 2023.6~8 |

アスネット …アスネットチケット取扱い

※下記は2023年6月6日現在の情報です。変更および追加となる場合があります。

大ホール

6	24(土)・25(日)	ミュージカル「ファインディング・ネバーランド」 問 イッセイプランニング：076-444-6666
7	1(土)	坂東玉三郎×鼓童「アマテラス幻想」生中継パブリックビューイング 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	2(日)	長渕剛 問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	8(土)	いきいき友の会「第32回講演と演芸のつどい」 問 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 いきいき長寿センター：076-432-6010
	9(日)	めざましクラシックス in とやま 問 富山テレビ放送事業局：076-492-7106
	15(土)	森山良子 コンサートツアー ～My Story～ 問 MIN-ON中部センター：052-951-5391 アスネット
	17(月・祝)	第56回富山中部高等学校吹奏楽部定期演奏会 問 富山県立富山中部高等学校：076-441-3541
	23(日)	WAHAHA本舗全体公演「シン・ワハハ」富山公演 問 サンライズプロモーション北陸：025-246-3939
8	12(土)	JUJU ジュジュ苑スペシャル「スナックJUJU2023」 問 キョードー北陸チケットセンター：025-245-5100
	13(日)	東京混声合唱団 富山特別演奏会 問 北日本新聞社事業部：076-445-3355 アスネット
	18(金)	富山第一高等学校 第58回定期演奏会 問 富山第一高等学校：076-451-3396
	20(日)	オーケストラ・アンサンブル金沢 富山特別公演 with合唱団OEKとやま 問 オーケストラ・アンサンブル金沢：076-232-0171 アスネット
	27(日)	富山シティフィルハーモニー管弦楽団 第50回定期演奏会 問 富山シティフィルハーモニー管弦楽団 http://toyamacpo.com/inquiry/ アスネット

中ホール

7	1(土)	柿落し公演 富山特別企画 坂東玉三郎×鼓童「アマテラス幻想」 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	2(日)	柿落し公演 小曽根真 featuring No Name Horses ～AUBADE HALL ANNIVERSARY～ 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	8(土)・9(日)	柿落し公演 志の輔らくご 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	15(土)～17(月・祝)	come come THEATER! ～音楽とダンスでめぐるバックステージ～ 問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
	23(日)	柿落し公演 クリストファー・クロス 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	29(土)	柿落し公演 ローラン・プティ HOMAGE INFINITY -PREMIUM BALLET GALA- 問 富山市民文化事業団：076-445-5610 アスネット
8	3(木)	ジョイフル キッズ コンサート Vol.90 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	8(火)～13(日)	AUBADE HALL Presents「WE♡MUSICAL」2023 問 富山市民文化事業団：076-445-5610
	19(土)・20(日)	asatte produce『ピエタ』 問 富山市民文化事業団：076-445-5610

オーバード・ホール公式SNSでは、
主催公演などの最新情報を随時アップしています。
ぜひフォロー&いいね！してください♪

交通のご案内

鉄道利用：富山駅下車、北口正面から徒歩3分
航空利用：富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
お車利用：北陸自動車道 富山I.C.出口から約20分

オーバード・ホール（富山市芸術文化ホール）

大ホール 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28
中ホール 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-17

TEL.076-445-5620
https://www.aubade.or.jp
オーバード・ホール
最新情報はHPをご覧ください

ミテミテ76- 2023.Summer号
発行日：2023年6月19日
発行所：公益財団法人 富山市民文化事業団
TEL.076-445-5610
企画・編集：Mite Mite編集室
Design：CROSS
Cover Photo：イマデラガク